

# NEWS RELEASE

2025年12月18日

各位



〒656-0101 兵庫県洲本市納 85 番地 1

代表取締役社長 橋本琢万

## 高齢者を守る「移動スーパー」の取り組み（年末特別火災警戒）

当社は、淡路広域消防事務組合（消防本部 予防課）と連携のもと、訪問先の高齢者へ、年末特別火災警戒 他の呼びかけ（住宅用火災報知器等のパンフレット配布）を12月22日（月）より行います。

[日程] 2025年12月22日（月）～12月24日（水）

[内容] 年末特別火災警戒（淡路広域消防事務組合、消防本部予防課と連携のもと）

[対象] 移動スーパー「とくしま」訪問先の高齢者（合計約1000名）

住宅火災による高齢者の死者のうち、『逃げ遅れ』による死者数の割合が8割以上を占めています。その要因として、高齢者は、使い慣れたコンロや裸火型の古い暖房器具を使い続ける傾向があること。また体力・判断力が低下し、発見が遅れ、逃げ切れずに多くの方が亡くなっていることが挙げられています。（総務省「高齢者の生活実態に対応した住宅防火対策のあり方に関する検討部会報告書」より）

『逃げ遅れ』を防ぐためには、住宅用火災報知器が非常に有効ですが、淡路島は兵庫県内での設置率ワースト2と、設置促進が優先課題となっています。また、設置義務化から15年が経過、交換時期が過ぎ、電池切れ等が懸念されています。（消防庁「住宅用火災警報器の設置状況等調査結果（令和7年6月1日時点）について」より）

高齢者と対面で接する移動スーパーの特性をいかし、消防からの情報を届ける取組みを2021年より行っており、今年で5年目となります。

空気が乾燥し、火や暖房器具を使用する機会が増えるこの季節、火の取り扱いに注意を促し、火災報知器の設置・作動確認を呼びかける啓発を行ってまいります。

移動スーパーが訪問する独居高齢者は、周囲との交流（相談する相手）が少なく、行政からの情報が届き難い実情があります。今後も、行政機関と連携を図り、販売員がお客さま一人ひとりと目を合わせ対話し、効果的に情報を届けることで、健康管理、防犯や防災の輪を広げていきたいと考えております。

以上